

12

わかやま

通巻 508号

和歌山教区報

行
発
和歌山教務支庁
〒640-8137
和歌山市吹上
3丁目2番46号
Tel 073-436-4445
Fax 073-436-4443
E-Mail
・wakayamakyoku
@ptano.ocn.ne.jp
・w.kouhoubu
@gmail.com

「教区報を勇みの種に」

広報部 中西 誠

和歌山教区内の皆様方には10月29日「教祖百四十年祭ようぼく一斎活動日」第1回（国内外75会場）を終えて、年祭活動二年目に向かうべく勇んでお通りと思わせて頂きます。

おぢばの秋季大祭に於いて真柱様は

『ようぼくは、教祖の道真衆である。元始まりに、親神様に呼び寄せられた道真衆が、親神様のお心に溶け込んで、お心通りに動いて、人間創造のために役立たれたよう、私たちは教祖のお心に溶け込んで、教祖のお心通りに素直に実行して、たすけ一条に励ませて頂くことが使命であることを、改めて確認し合いたいと思う。

そして、一人でも多くの人を、この道に引き寄せさせていただく努力とともに、その人たちが道真衆の自覚を持つて、教えを実行するようになるまで辛抱強く心をかけていくこと。また、すでにようぼくなつてはいるが、いま一旦休憩している人も、やはり一人でも多く、ようぼくの自覚を持つて動いてくれるよう働きかけを続ける、その努力も疎かにならないようにして、この年祭活動が盛り上がっていくようになればと思つてゐる。

どうぞ皆さんには、これからも勇んで通つてくださいることをお願いしたい。』
とお話をされました。

真柱様の『ようぼくは、教祖の道真衆である。』『ようぼくの自覚を持つて動いてくれるように働きかけを続ける』『祭活動が盛り上がりっていくように』とのお心に沿つて年祭活動を更に展開させて頂こうと思います。今まで良いのか、変えなければいけないのか等色々と思案して、来年の活動を勇み心を持つて迎えさせて頂こう思います。

私自身の心支えというか勇まない時に思うことは、お道の言葉ではありませんが「七転八起」（しちてんはつき）（ななころびやおき）という言葉を思い浮かびます。意味は「幾回失敗しても力を落とさず、たちあがつて奮闘すること」。何回失敗しても、それに負けず、また勇気を奮い起（）すこと。』とありますように、真柱様が熱望くださる、教祖の道真衆の自覚を持つて、転んでも勇む努力をして、起き上がる『こと』だと思います。

逆の言葉で起き上がるなく倒れないと一字違うだけですが「七転八倒」（しちてんはんぱつとう）となつて、意味は「苦痛のため、のた打ち回ること。』になつてしまひます。

この旬に教区報を担当する広報部としましては、「教祖百四十年祭ようぼく一斎活動日」や和歌山教区の活動を教区報に掲載したいと思つておりますので、各部、各会、各支部の協力のもと、教区の皆さん方の勇みの種、記事の提供をお願い致します。

12月・和歌山教区活動予定

※12月の各部団隊、各支部の活動は各担当者にお問い合わせ下さい。



わだちの会

● 11月のわだちの会 開催

○ 第202回 9日・参加者 21名

和歌山市 杭ノ瀬地区にて2名ずつ
に別れて戸別訪問をしました。

参加者20名でした。報告会では、
お餅や雑煮を頂きながら、単独布教
中の方も参加があり勇みを頂戴しま
した。

○ 第203回 19日・参加者 17名
教務支庁周辺を戸別訪問をしました。

参加者15名でした。初参加者も2
名あり、ベテランと組んでそれぞれ
おさづけの取次やお話をさせて頂き、
大変勇んでいました。
これからもより多くの方に参加頂き、
布教の熱、勇み心を発信したい
と思います。

△ 次回予定

△ 12/9・戸別訪問

和歌山市 中之島周辺

△ 12/19・神名流し・路傍講演

和歌山駅周辺

教務支庁 九時集合

マスク、チラシ持参で、
どうぞ体調に気を付けて
ご参加下さい。

宜しくお願ひ申し上げます。

日時

令和5年12月6日(水)

集合時間午前8時30分
西の丸広場での開会式

※ひのきしん者の車は当日砂の丸
広場にて駐車できます。
※ひのきしん箇所は当日説明しま
す。

■教務支庁よりお知らせ

年末年始12月28日～1月3日
まで閉院します。

ご迷惑をお掛けしますが、
よろしくお願ひ致します。

4日よりご利用下さい。

和歌山城美化活動への
協力依頼について

TEL 090-7345-2025

詳細は、和歌山教区担当者

有勢分教長

中西 誠まで